

## ■ヒアリング資料 脇淵委員

- ・ 社会福祉法人堂角舎 理事長
- ・ 幼保連携型認定こども園 ながらこどもの森 園長
- ・ 一般社団法人 岐阜県民間保育園・認定こども園連盟顧問

(以下、ご意見の概要)

- 平成 27 年度に、保育園から幼保連携型認定こども園となった。以来、保護者の教育に対する期待の大きさを実感しており、日々研鑽に務めている。
- 平成 29 年度から新しくなった保育所保育指針、幼稚園教育要領、幼保連携型認定こども園教育要領について、テレビなどでも具体的な事例などと共に解説されている。保護者の施設に対する関心も高まっていると感じている。子育てや幼児教育への認識が変わっていくかどうかは、これからの私たちの取組にかかっているのではないかと。
- 3 歳から教育が始まるわけではなく、乳児期から大切にすべきことがある。現代社会は、様々な情報にアクセスすることが可能だが、大切な子育ての情報が十分に伝わっていないと感じている。大人の乳児・幼児と接する力・育てていく力が低下しているのではないかと危惧している。
- 0 歳から 2 歳の子どもの多くは就園していないが、支援が必要な場面があると感じている。母子保健を通じた保健師による関わりに期待しているが、ながらこどもの森でも、モリセミと称して 0 歳から 2 歳までの赤ちゃんと母親を対象とした子育てセミナーを開催している。様々な関わり方が考えられるが、乳児教育こそ大切だと考えている。